



特 許 協 力 条 約

PCT

国際調査報告

(法第8条、法施行規則第40、41条)
〔PCT18条、PCT規則43、44〕

出願人又は代理人 の書類記号 JA920177	今後の手続きについては、様式PCT/ISA/220 及び下記5を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/016761	国際出願日 (日.月.年) 11. 11. 2004	優先日 (日.月.年) 14. 11. 2003
出願人 (氏名又は名称) 株式会社ヒューマンセルシステムズ		

国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条 (PCT18条) の規定に従い出願人に送付する。
この写しは国際事務局にも送付される。

この国際調査報告は、全部で 5 ページである。

☐ この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。

1. 国際調査報告の基礎

a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。

☐ この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った。

b. ☒ この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでいる (第I欄参照)。

2. ☐ 請求の範囲の一部の調査ができない (第II欄参照)。

3. ☐ 発明の単一性が欠如している (第III欄参照)。

4. 発明の名称は ☒ 出願人が提出したものを承認する。

☐ 次に示すように国際調査機関が作成した。

5. 要約は ☒ 出願人が提出したものを承認する。

☐ 第IV欄に示されているように、法施行規則第47条 (PCT規則38.2(b)) の規定により
国際調査機関が作成した。出願人は、この国際調査報告の発送の日から1カ月以内にこ
の国際調査機関に意見を提出することができる。

6. 図面に関して

a. 要約書とともに公表される図は、

第 _____ 図とする。 ☐ 出願人が示したとおりである。

☐ 出願人は図を示さなかったので、国際調査機関が選択した。

☐ 本図は発明の特徴を一層よく表しているため、国際調査機関が選択した。

b. ☒ 要約とともに公表される図はない。

様式PCT/ISA/210 (第1ページ) (2004年1月)

BEST AVAILABLE COPY

第 I 欄 ヌクレオチド又はアミノ酸配列 (第 1 ページの 1. b の続き)

1. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に必要なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、以下に基づき国際調査を行った。

a. タイプ

☒

配列表

☐

配列表に関連するテーブル

b. フォーマット

☐

書面

☒

コンピュータ読み取り可能な形式

c. 提出時期

☒

出願時の国際出願に含まれる

☐

この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された

☐

出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された

2. ☐ さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。

3. 補足意見：

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ A61K45/00, A61P9/14, 9/12, 13/12, G01N33/15, 33/50

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ A61K45/00, A61P9/14, 9/12, 13/12, G01N33/15, 33/50

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

CAPLUS (STN), REGISTRY (STN), MEDLINE (STN), BIOSIS (STN)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X Y	WO 2002/000210 A2 (メルク・アンド・カンパニー・インコーポレーテッド), 2002.01.03, 特に、特許請求の範囲、第7頁第29行~第8頁第18行、第11頁第5行~第12頁第6行、第13頁第11行~第14頁第5行及び実施例 & US 2002/0019360 A1 & EP 1317258 A2 & JP 2004-517804 A	1-4 1-11
X	JP 2003-093067 A (遠藤仁), 2003.04.02, 特に、特許請求の範囲、第2頁右欄第48行~第50行、第4頁左欄第2行~第7行、第5頁右欄第3行~第39行、実施例及	1-11

☒ C欄の続きにも文献が列举されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献
「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

17.01.2005

国際調査報告の発送日

01.2.2005

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/J P)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

上條 のぶよ

4C

9454

電話番号 03-3581-1101 内線 3451

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
	び第7頁右欄第30行～第43行 & WO 2003/027287 A1 & EP 1428880 A1	
X	ENOMOTO, Atsushi et al., Molecular identification of a renal urate-anion exchanger that regulates blood urate levels, Nature, 2002. 05. 23, 417 (6887), p. 447-452	1-11
Y	横山宏和等, 尿酸トランスポーターと特発性腎性低尿酸血症, 2003. 06. 25, Molecular Medicine, Vol. 40, No. 7, p. 762-767	1-11
Y	榎本篤等, 尿酸トランスポーターと腎性低尿酸血症, 臨床病理, 2003. 09. 20, Vol. 51, No. 9, p. 892-897	1-11
Y	遠藤仁等, トランスポーターと疾患, ファルマシア, 2003. 05. 01, Vol. 39, No. 5, p. 431-435	1-11

<調査の対象について>

請求の範囲1-4は、「URAT1の尿酸の取り込み作用を阻害する作用を有する薬物」、「URAT1の阻害剤又はブロッカー」という所望の性質により定義された化合物を有効成分とする血管障害や高血圧や腎障害の治療、予防又は処置のための医薬組成物に関するものである。そして、請求の範囲1-4は、そのような性質を有するあらゆる化合物を包含するものであるが、PCT6条の意味において明細書に裏付けられ、また、PCT5条の意味において開示されているのは、クレームされた化合物のごくわずかな部分にすぎないものと認められる。

また、「URAT1の尿酸の取り込み作用を阻害する作用を有する薬物」、「URAT1の阻害剤又はブロッカー」は、出願時の技術常識を勘案してもそのような性質を有する化合物の範囲を特定できないから、請求の範囲1-4は、PCT6条における明確性の要件も欠いている。

よって、調査は、URAT1と血管障害や高血圧や腎障害並びに高尿酸血症との関係について、及び、明細書に具体的に記載されているプロベネシド又はベンズブロマロンを有効成分とする血管障害や高血圧や腎障害の治療、予防又は処置のための医薬組成物について行った。